



CIMC ファームウェア管理

この章は、次の内容で構成されています。

- [CIMC ファームウェアの概要, 1 ページ](#)
- [シスコからのソフトウェアの取得, 2 ページ](#)
- [TFTP サーバからの CIMC ファームウェアのインストール, 4 ページ](#)
- [インストールされている CIMC ファームウェアのアクティブ化, 5 ページ](#)
- [CIMC 情報の表示, 5 ページ](#)

CIMC ファームウェアの概要

E シリーズサーバは、cisco.com からダウンロードしたファームウェアを使用します。このファームウェアは、シスコによって認証され、E シリーズサーバでアップグレードされます。

ダウンロードする CIMC ファームウェアは、.zip ファイルにパッケージ化されています。シスコからファームウェアの .zip ファイルをダウンロードした後、これを使用してサーバのファームウェアを更新することができます。また、シスコでは各イメージのリリースノートも提供しており、イメージを取得したのと同じ Web サイトから入手できます。



注意

この .zip ファイルを使用してサーバの更新を行わないでください。

再イメージ化には .bin ファイルを使用します。この .zip ファイルから適切な .bin アップグレードファイルを展開する必要があります。この .bin ファイルは、TFTP サーバまたはローカルマシンに展開できます。TFTP サーバを使用して更新できます。



(注)

ファームウェアを更新するときは、古いバージョンのファームウェアを新しいバージョンのファームウェアにアップグレードすることも、新しいバージョンのファームウェアを古いバージョンのファームウェアにダウングレードすることもできます。

CIMC は、サーバの実行中にアップタイムに影響を与えることなくファームウェアをコンポーネントにインストールできるように、ファームウェアの更新プロセスを段階的に分けています。アクティブにするまでサーバを再起動する必要がないため、夜間やその他のメンテナンス期間にこのタスクを実行することができます。ファームウェアの更新は、次の段階で行われます。

インストール

この段階では、CIMC は選択されたファームウェア バージョンをサーバに転送します。インストールプロセスでは、サーバ上の非アクティブスロット内のファームウェアが常に上書きされます。ファームウェアは次のいずれかの方法でインストールできます。

- ブラウザクライアント経由：コンピュータ上でファームウェア イメージを参照し、サーバにインストールすることができます。
- TFTP サーバから：TFTP サーバにあるファームウェア イメージをインストールできます。

アクティブ化

この段階では、CIMC は非アクティブのファームウェア バージョンをアクティブとして設定し、サーバを再起動します。サーバを再起動すると、非アクティブ スロットはアクティブ スロットになり、アクティブ スロットは非アクティブ スロットになります。新規のアクティブ スロット内のファームウェアが、実行中のバージョンとなります。

シスコからのソフトウェアの取得

ドライバ、BIOS、CIMC ファームウェア、および診断イメージをダウンロードするには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** <http://www.cisco.com/> に移動します。
- ステップ 2** まだログインしていない場合は、ページ上部の右端にある [Log In] をクリックして Cisco.com のクレンジナルを使用してログインします。
- ステップ 3** 上部のメニュー バーで、[Support] をクリックします。
ロールダウンメニューが表示されます。
- ステップ 4** ダウンロード（中央）のペインで、[All Downloads] をクリックします（右下隅に配置）。
[Download Software] ページが表示されます。
- ステップ 5** 左側のペインで、[Products] をクリックします。
- ステップ 6** 中央のペインの [Unified Computing and Servers] をクリックします。
- ステップ 7** 右側のペインで、[Cisco UCS E-Series Software] をクリックします。
- ステップ 8** 右側のペインで、ソフトウェアをダウンロードするサーバモデルの名前をクリックします。
[Download Software] ページが表示され、次のような、ダウンロードできるソフトウェア カテゴリのリストが表示されます。

- [Unified Computing System (UCSE) Server Drivers] : 次のドライバが含まれています。
 - Windows 2008 R2 用のオンボード ネットワーク ドライバ
 - Windows 2008 R2 および Linux 用の 10G PCIe ネットワーク ドライバ
 - Windows 2008 R2 用の LSI ドライバ (オンボード ハードウェア RAID コントローラ)
 - Windows 2008 R2 用の Intel ドライバ
- [Unified Computing System (UCSE) Server Firmware] : 次の BIOS および CIMC ファームウェア イメージが含まれています。
 - 倍幅 BIOS
 - シングル幅 BIOS
 - BMC/CIMC イメージ
- [Unified Computing System (UCSE) Utilites] : 次の診断イメージが含まれています。
 - オンボード診断イメージ

ステップ 9 該当するソフトウェア カテゴリのリンクをクリックします。

ステップ 10 ダウンロードするソフトウェア イメージに関連付けられた [Download] ボタンをクリックします。 [End User License Agreement] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 11 (任意) 複数のソフトウェア イメージをダウンロードするには、次の手順を実行します。

- a) ダウンロードするソフトウェア イメージに関連付けられた [Add to cart] ボタンをクリックします。
- b) 右上にある [Download Cart] ボタンをクリックします。
カートに追加したすべてのイメージが表示されます。
- c) すべてのイメージをダウンロードするには、右下隅にある [Download All] ボタンをクリックします。
[End User License Agreement] ダイアログ ボックスが表示されます。

ステップ 12 [Accept License Agreement] をクリックします。

ステップ 13 必要に応じて、次のいずれかを実行します。

- ローカル ドライブにソフトウェア イメージファイルを保存します。
- TFTP サーバからソフトウェア イメージをインストールする場合は、使用する TFTP サーバにファイルをコピーします。
サーバは TFTP サーバ上の宛先フォルダの読み取り権限を持つ必要があります。

次の作業

ソフトウェア イメージをインストールします。

TFTP サーバからの CIMC ファームウェアのインストール

はじめる前に

シスコから CIMC ファームウェアを取得し、そのファイルをローカル TFTP サーバに保存します。
「[シスコからのソフトウェアの取得](#)」を参照してください。



(注) アップデートがすでに処理中であるときにアップデートを開始すると、どちらのアップデートも失敗します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# scope cimc	CIMC コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /cimc # update <i>tftp-ip-address path-and-filename</i>	ファームウェアのアップデートを開始します。 サーバは、指定の IP アドレスにある TFTP サーバから、指定のパスとファイル名のアップデート ファームウェアを取得します。
ステップ 3	(任意) Server /cimc # show detail	ファームウェアアップデートの進捗状況を表示します。

次に、ファームウェアをアップデートする例を示します。

```
Server# scope cimc
Server /cimc # update 10.20.34.56 //test/dnld-ucs-k9-bundle.1.0.2h.bin
<CR> Press Enter key
Firmware update has started.
Please check the status using "show detail"
Server /cimc #
```

次の作業

新しいファームウェアをアクティブにします。

インストールされている CIMC ファームウェアのアクティブ化

はじめる前に

CIMC ファームウェアをサーバにインストールします。



(注) アップデートの処理中にアクティブ化を開始すると、アクティブ化に失敗します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# scope cimc	CIMC コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /cimc # show [detail]	使用可能なファームウェアイメージおよびステータスを表示します。
ステップ 3	Server /cimc # activate [1 2]	選択したイメージをアクティブにします。イメージ番号が指定されていない場合、サーバは現在非アクティブのイメージをアクティブにします。

次に、ファームウェア イメージ 1 をアクティブにする例を示します。

```
Server# scope cimc
Server /cimc # show detail
Firmware Image Information:
  Update Stage: NONE
  Update Progress: 100
  Current FW Version: 1.0(0.74)
  FW Image 1 Version: 1.0(0.66a)
  FW Image 1 State: BACKUP INACTIVATED
  FW Image 2 Version: 1.0(0.74)
  FW Image 2 State: RUNNING ACTIVATED

Server /cimc # activate 1
```

CIMC 情報の表示

はじめる前に

CIMC ファームウェアをサーバにインストールします。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Server# scope cimc	CIMC コマンド モードを開始します。
ステップ 2	Server /cimc # show [detail]	CIMC ファームウェア、現在時刻およびブートローダ バージョンを表示します。

次に、CIMC に関する情報を表示する例を示します。

```
Server# scope cimc
Server /cimc # show detail
CIMC:
  Firmware Version: 1.0(1.20120417172632)
  Current Time: Thu Apr 26 12:11:44 2012
  Boot-loader Version: 1.0(1.20120417172632) .16
```